

2026

日本人間性心理学会 第45回大会

2026.9.4~6 福岡大学



日本人間性心理学会
The Japanese Association for Humanistic Psychology

<https://2026.c-jahp.com/>



日本人間性心理学会 第45回大会

2026年9月4日（金）～9月6日（日）福岡大学 A棟



大会日程（予定）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	
9月4日 （金）		ワークショップ								自主シンポ		
9月5日 （土）	口頭発表		口頭発表		口頭発表	準備委員会企画 1		ポスター 発表	懇親会			
9月6日 （日）	口頭発表 受賞記念講演	口頭発表 受賞記念講演	口頭 発表		総会	準備委員会企画 2						

準備委員会企画

【準備委員会企画1 シンポジウム】

『多声が響くつながりの場をつくる

ー実践の「かけら」から人間性心理学を考えるー』

当学会には、既存のセラピーや実践の枠に当てはまらない、一風変わった面白い活動をしている人たちが数多くいます。これらの活動を簡単に紹介し、会場のオーディエンスとの対話形式のシンポジウムを行います。モザイク画が1つ1つのかけらを寄せ集めて作品になるように、独創的な実践の「かけら」を集めて人間性心理学の今を俯瞰したい。それが、今後の展開の大きなエネルギーになると考えています。

【準備委員会企画2 公開講演】

David Murphy 「This learning that we call therapy（私たちがセラピーと呼ぶこの学び）」

David Murphy氏はイギリスのノッティンガム大学の教員で Person-Centered Therapy (PCT) のセラピストです。3回目の来日となる今回、当学会に招聘いたしました。イギリスの医療現場でPCTの実践が衰退しつつある中で、彼はPCTを、医療パラダイムとは異なる、人生における成長パラダイムによる教育的な実践であるとする見方を提案しています。これからのPCT (PCA) を私たちがどのように捉え、実践していくか、一緒に考えていきたいと思っています。

発表

- ・口頭発表（30分、60分、90分）
- ・ポスター発表

ワークショップ

（タイトルおよび内容は変更となる可能性があります。この他にも依頼予定です。）

- ・ David Murphy先生（ノッティンガム大学）「心的外傷および心的外傷後成長に対するパーソンセンタード・アプローチ」
- ・ 村久保雅孝先生（(一財)日本心身医学協会）・土屋貴哉先生（佐賀大学芸術地域デザイン学部）・田口友美先生（佐賀大学医学部）「ささやかな話、確かなことII」
- ・ 福盛英明先生（九州大学）・森川友子先生（九州産業大学）「日常におけるフォーカシング的態度の涵養ー「次の一歩」を見つけるフェルトセンスとのつきあい方ー」
- ・ 鬼塚淳子先生（東京大学相談支援研究開発センター）「Community Engaged Art ー新しい自己・他者とのつながりを見つける旅ー」
- ・ 村山尚子先生（心理教育研究所赤坂）・北田朋子先生（東亜大学）・村山正治先生（福岡人間関係研究会）・木村太一先生（福岡大学）「PCAの『自由音楽会』ーそのままの自分を楽しみ そのままの仲間と楽しむー」
- ・ 鯨岡峻先生（京都大学名誉教授）・山本知香先生（音楽療法士）「エピソード記述」
- ・ 野島一彦先生ほか「エンカウンター・グループ」

お問い合わせ先

日本人間性心理学会第45回大会準備委員会事務局

福岡大学人文学部 本山智敬 Mail: jhp45@googlegroups.com